

日本人が、がんになる確率 50% 早期に発見できれば完治する確率 90% !

～がん検診 知って受ければ あなたの味方～ がん検診理解度 **CHECK!**

CHECK!



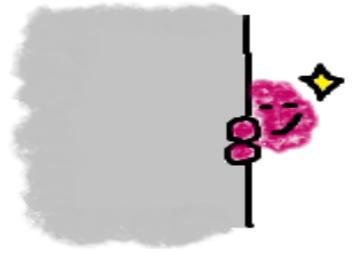
Q1 がん検診は 100%がんを見つけることができる？

答え：✕

がん検診技術は目ざましく進歩しています。また、検診の精度を高めるため日々努力・工夫をしています。しかし、100%がんを発見できる検査はありません。**がんが見つかりにくい場所にあたり、見つかりにくい形をしている場合は発見できないことがあり、がんがあっても「異常なし」と判定されることがあります。**

逆に、**がん検診で「要精検」であっても**、それが本当にがんなのか、治療が必要ながんなのかは精密検査をして初めて分かることです。**結果的に「異常なし」という場合もあります。**

その他のがん検診のデメリットとして、放射線検査における被ばくの問題や、バリウムによる誤嚥、アナフィラキシー、消化管穿孔、腸閉塞、腹膜炎、過敏症などを引き起こすことが挙げられます。



❗ **がん検診のメリット・デメリットをよく理解して受けることが大切です。**

Q2 自覚症状があっても、もうすぐ検診だから病院は受診しない？

答え：✕

検診は異常があるかないかを振り分けるもので、病気を診断するものではありません。**自覚症状がある場合は、検診を待たず速やかに医療機関を受診しましょう。**

女性は**ブレスト・アウェアネス（乳房を意識する生活習慣）**が大切です。

日ごろから自分の乳房を意識し、その状態を知っておくことで、はじめて異常の出現に気がつくことができます。4つのポイント、**①自分の乳房の状態を知る、②乳房の変化に気をつける、**

③変化に気づいたらすぐ医師に相談する、④40歳になったら定期的に乳がん検診を受ける、を習慣づけましょう。



Q3 がん検診を受けることで、がんによる死亡リスクが減少する？

答え：○

胃がん・大腸がん・肺がん・子宮頸がん・乳がんは、がんによる死亡原因の上位に位置します。

これらのがんの検診は、**早期発見でき、治療で死亡率を減少させることが科学的に証明されている、有効な検診**です。

■がん死亡数上位5部位（2024年）

	1位	2位	3位	4位	5位
男性	肺	大腸	胃	膵臓	肝臓
女性	大腸	肺	膵臓	乳房	胃
計	肺	大腸	膵臓	胃	肝臓



（出典：がん情報サービス最新がん統計）

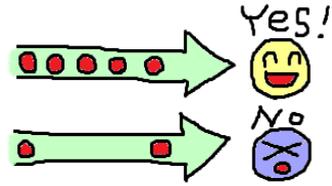
❗ **子宮頸がんは、日本女性のがんの中で比較的罹患率が高く、また近年増加傾向にあります。**

Q4 がん検診はたまに受ければいい？

答え：✕

がんの進行速度は種類によりまちまちですが、**検診間隔**はできるだけ多くのがんが**早期に発見できるように設定**されています。

早期発見のために、必ず毎年（がん検診によっては2年に1回）、定期的に検診を受けましょう。



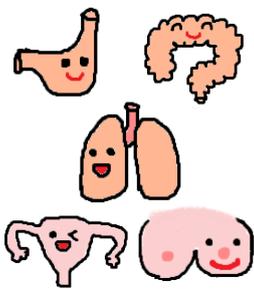
Q5 がん検診で「要精密検査」判定でも検査を受けなくて良い？

答え：✕

がん検診で「要精密検査」と判定されたのは、「がんを含め異常がありそう」と判断されたためです。より詳しい検査を受け、**本当に異常があるか調べる必要があります。**
また、**自覚症状がある場合は、検診結果に関わらず医療機関を受診しましょう。**



■がん検診の精密検査の方法



がん検診	精密検査の方法
胃がん検診(X線、内視鏡)	内視鏡、生検
肺がん検診(X線)	CT、気管支鏡
大腸がん検診(便潜血)	第一選択は全大腸内視鏡、 困難な場合はS状結腸内視鏡と注腸X線の併用
子宮頸がん検診(細胞診、HPV)	コルポスコープ、組織診
乳がん検診(マンモグラフィ、超音波)	マンモグラフィ追加撮影、超音波、細胞診、組織診

※検査の概要については事業団HPをご覧ください。

医療機関については、自治体、検診機関、かかりつけ医などにご相談ください。
または、「**栃木県 がん検診精密検査医療機関**」で検索！（栃木県ホームページ）



■精密検査結果の把握について

精密検査の結果は、がん検診の精度管理を行うための重要な情報となります。そのため、検診機関も共有することがあります。

Q6 タバコがなくなれば、男性のがんの3分の1が減る？

答え：○

がんになった人のうち、**男性30%、女性5%はタバコが原因**と考えられています。

また、日本で最も死亡が多い**肺がんの最大の原因は、タバコ**です。

口やのどのがん・胃がん・食道がん・肝臓がん・膵臓がん・膀胱がん・子宮頸がんも関連しています。

さらに、最大の問題は、**周りの人にも健康被害（肺がん等）**を引き起こすことです。**禁煙しましょう！**

喫煙者の肺がんになるリスク：非喫煙者に比べ、男性4.4倍、女性2.8倍！

受動喫煙者の肺がんになるリスク：受動喫煙のない者に比べ、28%高い！

（参考：国立がん研究センター「がん情報サービス」、厚労省「喫煙と健康」）



★掲載内容について、弊社の許可なく複製・複写・転載することをご遠慮願います★

～検診実施機関～ 公益財団法人栃木県保健衛生事業団

URL <https://tochigi-health.or.jp/healthcare/cancer-screening/>

がん検診の情報について⇒
(公財)栃木県保健衛生事業団HP

